

研究業績 (2023 年度)

(* , 責任著者)

【 英文原著 】

1. Behavioral and neurological effects of Vrk1 deficiency in zebrafish.
Carrasco Apolinario ME, Umeda R, Teranishi H, Shan M, Phurpa, Sebastian W.A, Lai S, Shimizu N, Shiraishi H, Shikano K, Hikida T, Hanada T, Ohta K, Hanada R.
Biochem Biophys Res Commun. 675: 10-18, 2023

【 総説 】

【 招待講演・シンポジウム 】

【 学会発表 】

1. 鹿野健史朗, 森崎郁子, 比嘉涼子, 吉村充弘, 八尋貴樹, 花田 俊勝、中村和弘,
上田陽一, 花田礼子
「エネルギー代謝調節機構における NPGL/NPGM システムの役割の解明」
第 96 回日本内分泌学会学術総会, 2023 年 6 月 1 日, 名古屋市
2. 得丸智子, 遠藤美月, 村上和成
「フィッシュモデルを用いた肝臓における非感染性炎症メカニズムの解明」
第 59 回日本肝臓学会総会, 2023 年 6 月 15 日, 奈良市
3. 鹿野健史朗, 森崎郁子, 比嘉涼子, 吉村充弘, 八尋貴樹, 花田 俊勝、中村和弘,
上田陽一, 花田礼子
「「痩せ」を示す NPGL/NPGM 遺伝子改変マウスの生理機能解析」
第 30 回西日本肥満研究会, 2023 年 7 月 23 日, 京都市
4. Magdeline Elizabeth Carrasco Apolinario, Ryohei Umeda, Kenshiro Shikano,
Hitoshi Teranishi, Reiko Hanada
「Analysis of the physiological role of VRK1 in microcephaly」
第 46 回日本神経科学大会, 2023 年 8 月 2 日, 仙台市